

農山漁村振興で 道内3団体選定

農水省

農林水産省は10日、農業体験希望の若者と受け入れ農家を結ぶ活動を行っている札幌市の人材育成会社neeth(ニーズ)など道内3団体を含む全国24団体の農山漁村活性化に向けた先駆的な取り組みを「食と地域の『絆』づくり」として選定、首相官邸で選定の授与式を行った。



道内から選ばれたのは、品を製造・販売しているはニーズのほか、地元黒松内町の酪農家と協力して乳製品を製造する後志管内黒松内町の黒松内町特産物手づくり加工センター「トワ・ヴェール」、エゾシカ肉を名物料理にした上川管内

南富良野町の南富良野エゾカツカレー推進協議会。

野田佳彦首相は「志を持って豊かな農山漁村をつくろうと思ってる方が全国にいると実感した。その後押しを政府が行っていかねければならない」とあいさつした。ニーズの最高経営責任者の石井宏和さん(32)は授与式終了後、「積み重ねることの意味がある。今後は漁村でも活動してみたい」と抱負を語った。

石井さん(前列右)ら道内の3団体の代表者が出席した授与式